

# 彩菜栽

2017年  
12月

## ハクサイの上手な貯蔵方法



大きく育ち、固く結球したハクサイは、一斉に収穫するだけでなく、ある程度の畑に残して順次収穫し利用したいものです。

この場合、畑でそのままにしておくと、厳しい霜や寒風のために、球の頂部の柔らかい葉や外葉がカサカサになり、やがてそこから腐って食べられなくなります。防寒対策を施して長い間利用したものです。

大きく育ち、固く結球したハクサイは、一斉に収穫するだけでなく、ある程度の畑に残して順次収穫し利用したいものです。

一番簡単な防寒対策は、霜が降り始めたころ、先に収穫した株の少しおれかけた外葉を球の頭上に4〜5枚覆いかぶせておくことです。少しおれかけていた方が球になじみやすく風で吹き飛ばされにくいので好都合です。

畑にはある程度長く置く場合は、なるべく多

くの外葉で

球を包むよ

うにして、

ポリテープ

や細縄など

で縛ってお

きます。元

気良く育つ

と葉折れが

ひどく、作

業しにくいので、多少霜に遭い葉が柔らかさを増してから作業するようにしましょう。

相当広い面積の畑で多数の株を貯蔵するには、べた掛け資材(長繊維不織布、割繊維不織布)を広げて、頭上に2〜3枚重ね掛けするのが効果的です。プラスチックフィルム、特にポリフィルムは、じか掛けにするとその直下は一時的に外気温よりも低くなってしまいうので、使用しないでください。

大面積の栽培での本格的な貯蔵法として囲い貯蔵法があります。これは、ハクサイを畑から根ごと引き抜いて、別の場所に根を下方に向けて密に並べ置き、上に稲わらなどの保温材で

覆って寒さから守る方法です。この場合、寒害を受ける前に、通常よりもやや若取りすることが大切です。そして寒害を受ける直前に貯蔵に取り掛かるよう配意します。この方法を上手にすれば、約2カ月も長期貯蔵することが可能です。

いずれの防寒、貯蔵方法でも、貯蔵する前にアブラムシやアオムシなどが寄生していると増殖してしまう恐れがあるので、事前に薬剤防除をすることが肝要です。

収穫後に短期間品質を保持するには、新聞紙にくるんで涼しい場所に立てて置くのが簡単です。これで約1週間鮮度を保てます。

### 【畑での防寒】

収穫済みの株の下葉を球の頭上にかぶせる



外葉で球を包みポリテープや細縄で縛る



### 【畑での保温被覆】

列ごとにべた掛け資材(2〜3重)や保温マットで覆う



### 【畑でまとめて貯蔵(約2ヶ月)】

根を付けたまま株を引き抜き、まとめて稲わらで覆う



### 【家庭での簡易貯蔵(約1週間)】

新聞紙にくるんで冷暗所に。頭を上に向けて

